

被表彰団体の主な活動内容等

	団 体 名	主 な 活 動 内 容
学 校	松江市立島根小学校 ○学級数 7学級 ○児童数 130人 ○島根県学校図書館活用教育 研究事業研究校(H30～R1)	○読書を通しての異学年交流や図書委員会による図書祭りなど、子どもによる積極的な読書活動の展開により、読書に親しみ、楽しく幅広く読書する子どもの育成に取り組んでいる。 ○校内組織を整え、教育課程全体と関連付けた年間計画を踏まえながら、教科横断的な調べ学習を促進するための研究を行っている。これらの取組により、国語や総合的な学習の時間だけでなく、算数科で図書館を利用した授業が行われたり、委員会などでも学校図書館を使って調べ活動を活発に行われたりするなどの成果があらわれてきている。
	隠岐の島町立中条小学校 ○学級数 6学級 ○児童数 59人 ○島根県学校図書館活用教育 研究事業研究校(R1)	○子どもの読書活動を推進するため、教員による辻読書や地域ボランティアによる読み聞かせ、ブックトークなどに取り組んでいる。また、週末に本を持ち帰り、家で読書する「家読(うちどく)」の取組や、年度末に後輩に向けて推薦本の紹介文を書く取組などの実施による読書の習慣化・意欲付けを行っている。 ○「授業者が取り組みやすい学校図書館活用授業」を合言葉に、リーフレット指導案、スライド資料、ワークシート、資料リストをパッケージ化し、系統的・継続的な学習指導を行っている。児童の学校図書館活用への意欲が高まっており、情報活用のスキルも向上しつつある。
	松江工業高等学校 ○学級数 18学級 ○生徒数 581人	○学校独自の「図書館活用計画」により、各教科等の学習で、学年・教科を横断した学校図書館の活用がデザインされており、学校図書館を活用した学びが定着している。学校図書館運営委員会によって活用計画の進捗状況が確認され、司書教諭と学校司書の協働・連携も進められている。 ○ビブリオバトル大会、朝読書、絵本の授業等を実施。生徒図書委員会は図書館講座や季節の行事を企画した。島根県立図書館との連携・交流もある。
団 体	読み聞かせグループ ダンボの会 ○発足 平成11年4月 ○会員数 22名	○ 学校、地域、関係機関と連携し、絵本や物語の読み聞かせのほか、紙芝居、パネルシアター等の活用により、子どもたちの発達段階に応じた取組を行っている。まちづくりセンター事業や幼稚園等の保護者会でのおはなし会など、保護者と子どもを交えた読書イベント等を実施することにより、家庭での読書支援にもつなげている。 ○乳幼児期からの読書推進はもとより、障がいのある子どもへの読書支援など、あらゆる子どもに対して読書の機会を確保し、読書への関心を高めている。

(学級数及び児童数は令和2年5月1日現在)